

東日本大震災

15周年記念の祈り



十三浜でのわかめボランティア

午後2時46分の黙想

ー同じ時 想いを一つに 皆で祈りをー

ーすべての逝去者、困難のうちにある方々を覚えてー

2026年3月11日（水）午後2時15分

※ 礼拝の開始時間（午後 2 時 15 分）は目安です。礼拝が始まってから福音書朗読が終わるまでは約 10 分程度です。説教または勧話を 15 分程度としますと、午後 2 時 46 分まで約 5 分程度の黙想時間となります。

それぞれの状況に応じて、時間を調整し、この式文の全体、あるいは一部を用いて、祈りの時を共にしていただければ幸いです。

東日本大震災 15 周年記念の祈り

この祈りは午後 2 時 15 分から用いてもよい。

司式者は沈黙のうちに入堂する。

ともに集う

一同立つ。

司式者 父なる神と主イエス・キリストからの恵みと平和が、皆さんとともに
会衆 また、あなたとともに

悔い改めの祈り

司式者 神はその独り子をお与えになったほどに、世を愛してくださいました。
この神の愛に応えるため、自らを省み、ともに罪の赦しを祈りましょう
ここで一同ひざまずく。しばらく自らを省みた後、一同で唱える。

一同 憐れみ深い神よ、わたしたちは、してはならないことをし、しなければな
らないことをせず、思いと、言葉と、行いによって、あなたと隣り人に対
して多くの罪を犯しています。どうか罪深いわたしたちをお赦しください。
新しい命に歩み、み心に従い、み栄えを現すことができますように、
救い主イエス・キリストによってお願いいたします アーメン

聖歌 第424番

『日本聖公会聖歌集』をご参照ください。

『日本聖公会聖歌集』をご参照ください。

とく とう
特 禱

司式者 主は皆さんとともに

会衆 また、あなたとともに

司式者 祈りましょう

天地の創り主である主よ、今わたしたちは東日本大震災の発生から満15年の日を
迎え、共に祈るためにここに集いました。東日本大震災の地震と津波によって、
そして東京電力福島第一原子力発電所事故によって大きな苦難を受けた人々
のために祈ります。またその日から今日に至るまで、幾多の災害が日本国内にお
いて、また世界の各地で起こりました。その中で犠牲となった人々、また今なお
困難な生活が続いている人々のことも思い、祈ります。どうぞあなたの慰めと励
ましのみ力がそれら多くの人々の上にありますように。多くの災害とともに、い
まだに小さくされた人たちの苦しみが続くウクライナ戦争やパレスチナの虐殺
をはじめとする争い、憎しみの絶えることのないこの世界にあって、わたしたち
があなたの創造の美しさを回復させるため、小さな器として用いられますよう、
力と導きをお与えください。苦しみ、悩む人々と共に歩まれる主イエス・キリス
トによってお願いいたします。アーメン

と も に 聞 く

司式者 聖書のみ言葉を聞きましょう

会衆は着席する。

第1朗読

朗読者 第1の朗読は、イザヤ書 第25章 7節から（イザヤ25:7—10）

7 主はこの山で

すべての民の顔を覆うべールと

すべての国民にかぶせられている覆いを破り

- 8 ^し死を^{えいえん}永遠に^の飲み^こ込んでくださる。
^{しゅ}主なる^{かみ}神はすべての^{かお}顔から^{なみだ}涙を^{ぬぐ}拭い
^{たみ}その民の^{はじ}恥をすべての^ち地から^け消し去^さってくださる。
^{たし}確かに、^{しゅ}主は^{かた}語られた。
- 9 ^ひその日には、^{ひと}人は^い言う。
^み見よ、この^{かた}方こそ^{わたし}私^{かみ}たちの神。
^{わたし}私たちはこの^{かた}方を^ま待ち望^{のぞ}んでいた。
^{かた}この方は^{わたし}私^{すく}たちを救^{すく}ってください。
^{かた}この方こそ^{わたし}私^またちが^{のぞ}待ち望^{しゅ}んでいた主。
^{すく}その救いに^{よろこ}喜^{おど}び踊ろう。
- 10 ^{しゅ}主の手はこの^て山にと^{やま}どまる。

朗読者 ^{だい}第1の朗読を^{ろうどく}終わ^おります

^し詩 ^{へん}編 第34編 1～10節

- 1 ^{わたし}私はどのような^{とき}時も^{しゅ}主を^{わたし}たたえよう || ^{わたし}私の^{くち}口には^な絶え間なく^{しゅ}主の^{きんぎ}賛美が
ある
- 2 ^{わたし}私の^{たましい}魂は^{しゅ}主を^{ほこ}誇り || ^{くる}苦しむ^{ひと}人は^{きこ}聞いて^{よろこ}喜ぶ
- 3 ^{わたし}私と^{とも}共に^{しゅ}主を^{あが}崇めよ || ^{とも}共に^み御名を^{あが}崇めよう
- 4 ^{わたし}私が^{しゅ}主を^{たず}尋ね^{もと}求めると、^{しゅ}主は^{わたし}私に^{こた}答え || ^ああらゆる^{きょうふ}恐怖から^{たす}助け出^だしてく
ださった
- 5 ^{しゅ}主を^{あお}仰ぎ^み見る^{ひと}人は^{かがや}輝き || ^{はずかし}辱めに^{かお}顔を^ふ伏せることはない
- 6 ^{くる}苦しむ^{ひと}人が^よ呼び^{もと}求めると、^{しゅ}主は^{しゅ}これを^{きこ}聞き || ^ああらゆる^{くるしみ}苦難から^{たす}救^{すく}ってくだ
さった
- 7 ^{しゅ}主の^{あか}使いは^{しゅ}主を^{おそ}畏れる^{もの}者の^{まわり}周りに^{じんぐ}陣を^ふ敷き || ^{かれ}彼らを^{たす}助け出^だした
- 8 ^{あど}味わい、^み見よ、^{しゅ}主の^{めぐ}恵み^{あか}深さを || ^{さいわ}幸いな^{もの}者、^{しゅ}主に^{のが}逃^{ひと}れる人は
- 9 ^{しゅ}主の^{せい}聖なる^{ひと}人よ、^{しゅ}主を^{おそ}畏れよ || ^{しゅ}主を^{おそ}畏れる^{ひと}人は^{とぼ}乏しいことがない

10 若い獅子は獲物がなくて飢えるが || 主を尋ね求める人は、いかなる良いものも欠けることがない

福音書

朗読者 ルカによる福音書 第21章 25節から (ルカ 21:25—28)

25「そして、太陽と月と星に徴が現れる。地上では海がどよめき荒れ狂う中で、諸国の民は恐れおののく。26人々は、これから世界に起こることを予感し、恐怖のあまり気を失うだろう。天の諸力が揺り動かされるからである。27その時、人の子が力と大いなる栄光を帯びて雲に乗って来るのを、人々を見る。28このようなことが起こり始めたら、身を起こし、頭を上げなさい。あなたがたの救いが近づいているからだ。」

朗読者 ルカによる福音書を終わります

* 説教 北 海道 教 区 主 教 マリア・グレイス 笹 森 田 鶴 主 教

* 沈 黙

午後2時46分まで沈黙のうちに待つ。

* 打 鐘

午後2時46分に鐘を鳴らす。

一同、鐘とともに立ち、1分間、黙祷の時を持つ。

黙祷後、次の唱和を用いる。

司式者 東日本大震災によるすべての犠牲者を覚えます

主よ 永遠の平安をこの人々に与え

会衆 絶えざるみ光をもって照らしてください

しとしんきょう 使徒信經

一同立ち、歌いまたは唱える。

わたしは、^{てん ち}天地の^{つく}造り主、^{ぬし}全能の父である^{ぜんのう}神を^{ちち}信じます。

また、その^{ひと}独り子、わたしたちの^{しゅ}主イエス・キリストを^{しん}信じます。主は^{しゅ}聖霊によつて^{やど}宿り、おとめマリヤから^う生まれ、^うポンテオ・ピラトのもとで^{くる}苦しみを^う受け、^{じゅう}十字架につけられ、^し死んで^{ほうむ}葬られ、^{くだ}よみに^{みづかめ}降り、^{し にん}三日目に^{しゅ}死人の^{せいれい}うちから^うよみがえり、^{てん}天に^{のぼ}昇られました。そして^{ぜんのう}全能の父である^{ちち}神の^{かみ}右に^{みぎ}座して^ざおられます。そこから主は^{しゅ}生きている^い人と^{ひと}死んだ^し人とを^{ひと}審く^{さば}ために^こ来られます。

また、^{せいれい}聖霊を^{しん}信じます。聖なる^{せい}公会、^{こうかい}聖徒の^{せい と}交わり、^{まじ}罪の^{つみ}赦し、^{ゆる}体^{からだ}のよみがえり、^{えいえん}永遠の^{いのち}命^{しん}を^{しん}信じます アーメン

へい わ あいさつ 平和の挨拶

司式者 ^{へい わ}キリストはわたしたちの^{へい わ}平和です

会衆 ^{しゅ}わたしたちは^な主のみ^{で あ}名によつて^{しゅ}出会い、^{へい わ}主の^わ平和を^あ分かち合います

司式者 ^{へい わ}平和の^{あいさつ}挨拶を^か交わしましょう

ここで、互いに「主の平和」と唱えて挨拶を交わす。

ささ 献げもの

ここで次の言葉を用いてもよい。あるいは他のふさわしい言葉か聖句を用いてもよい。

司式者 ^{しゅ}主の^{すく}救いの^{わざ}み業に^{かんしゃ}感謝し、ともに^{さん び}賛美を^{ささ}献げましょう

信施はここで集める。その間に聖歌を用いてもよい。

信施を献げるときは、以下の言葉を歌いまたは唱えてもよい。

司式者 ^{しゅ}すべての^{たまもの}ものは主の^{たまもの}賜物

一同 ^{しゅ}わたしたちは^う主から^{しゅ}受けて^{ささ}主に^{ささ}献げたのです アーメン

と も に 祈 る

司式者は次のように言う。会衆の代表者が言ってもよい。

司式者 すくぬし イエス・キリストのみ言葉とみ業に頼り、全公会のため、また世界ののために、ことに東日本大震災を覚えて祈りましょう

司式者 いつくしみ深い神、慰めの主よ、今、わたしたちは15年を経た東日本大震災を覚えて祈ります。どうか、被災地にある人、避難生活を強いられている人、特に日本社会の中で生きることの困難に苦しむ人、将来の希望を見い出せない人を支えてください

会衆 主よ、お聞きください

司式者 原子力発電所事故により、失われた自然と人々の生活を覚えます。故郷を離れて生活する人、危険な作業に従事する人とその家族をお守りください。そして政治と社会に責任を持つ人々に正しい道を歩ませてください

会衆 主よ、お聞きください

司式者 わたしたちもまた、これらの苦難をつねに覚えることができますように。日本聖公会の被災者支援の働きを強めてください。そしてわたしたちも思いと力を合わせて、共に歩み続けることができるように導いてください

会衆 主よ、お聞きください

司式者 いのちの源である主よ、東日本大震災のすべての犠牲者、そして世界各地の災害と争いの中で生命を失った人々を、あなたのみ腕の中に抱き、永遠の安らぎを与えてくださいますように

会衆 主よ、これらの祈りをイエス・キリストのみ名によってお願いいたします。アーメン

主の祈り

一同ひざまずく。

司式者 主よ、憐れみをお与えください

会衆 キリストよ、憐れみをお与えください

司式者 主よ、憐れみをお与えください

次に一同、主の祈りを歌いまたは唱える。

天におられるわたしたちの父よ、

み名が聖とされますように。

み国が来ますように。

みこころが天に行われるとおりに地にも行われますように。

わたしたちの日ごとの糧を今日もお与えください。

わたしたちの罪をおゆるしてください。わたしたちも人をゆるします。

わたしたちを誘惑におちいらせず、

悪からお救いください。

国と力と栄光は、永遠にあなたのものです アーメン

感謝

司式者 ともに祈りましょう

すべてのものの源である神よ、あなたは遠く離れていたわたしたちを、み子との出会いをとおして主の家に招いてくださいました。このあなたの愛に感謝し、み名をほめたたえます。あなたからいただいたみ言葉と恵みと平和を、わたしたちがすべての人びとと分かち合うことができますように。そして聖霊の導きにより、あなたの光でこの世界を照らす働きに与らせてください。またあなたがわたしたちに与えてくださった希望を変わることなく保たせ、すべてのものがみ名をほめたたえることができますように、主イエス・キリストによってお願いいたします アーメン

主 と と も に 行 く

終わりに司式者は次のように言う。

司式者 かぎ あい めぐ かみ よ ひと よ き ひと ぜんこうかい こ
限りない愛と恵みの神が、世にある人と世を去った人との全公会を、み子
イエス・キリストによる復活とみ国の喜びに導いてくださいますように
会衆 アーメン

派遣の唱和

一同立って、次の唱和を用いる。

司式者 かみ ひと つか い
神と人にとに仕えるために行きましょう
会衆 しゅ な
主のみ名によって アーメン

ここで聖歌を用いてもよい。



聖歌 第465番

1 し ず け き か わ の き し べ を す ぎ ゆ く と き に も
 2 む ら が る あ た は た け り て す か こ め ど と せ む れ ど
 3 う れ し や 十 字 架 の う え に て か わ が つ み は 死 に き
 4 お お ぞ ら は ま き さ ら れ て 地 は く ず る る と き

う き な や み の あ ら う み を わ た り ゆ く お り に も
 こ こ ろ (こ こ ろ) (やす し) (やす し) か み に よ り て や す し

When peace like a river attendeth my way
 Horatio Gates Spafford (1828-1888)

PEACE
 Philip Paul Bliss (1838-1876)

- 1 しずけ^{かわ}き^{きしべ}川の^す岸^す辺^すを 過^すぎ^すゆ^すく^すと^すき^すに^すも
憂^うき^う悩^{なや}みの^{あらうみ}荒^{あら}海^{うみ}を 渡^{わた}り^{わた}ゆ^{わた}く^{わた}お^{わた}り^{わた}に^{わた}も

(おりかえし)

心^{こころ} やすし 神^{かみ}によりて やすし

- 2 群^{むら}がる^{あた}仇^あは た^{かこ}け^せりて 囲^{かこ}め^せど^せ攻^せむ^せれど
試^{こころ}む^{こころ}る^{こころ}者^あ 荒^{あら}び^{あら}て の^{くだ}ぞ^{くだ}み^{くだ}を^{くだ}砕^{くだ}く^{くだ}と^{くだ}も

(おりかえし)

- 3 う^{じゅうじか}れ^{うえ}し^{うえ}や 十^{じゅう}字^じ架^かの^う上^えに わ^{つみ}が^し罪^{つみ}は^し死^しに^しき
思^{おも}い^{おも}に^{おも} く^おず^み折^しれ^しし^し身^しも 主^{しゅ}を^{しゅ}た^{うた}た^{うた}え^{うた}歌^{うた}わ^{うた}ば

(おりかえし)

- 4 大^{おお}空^{ぞら}は ま^さき^さ去^さら^されて 地^ちは^{くず}崩^{くず}る^{くず}と^{くず}き
罪^この^こ子^こら^こは さ^{たみ}わ^{たみ}ぐ^{たみ}と^{たみ}も 神^{たみ}に^{たみ}よ^{たみ}る^{たみ} み^{たみ}民^{たみ}は

(おりかえし)

詩55：19 1ペト2：24 マタ24：29-31並行



この式文は、日本聖公会祈祷書別冊諸式『み言葉の礼拝』、『日本聖公会聖歌集』（2006 年）、『聖書 日本聖書協会共同訳』（2018 年）から抜粋したもので、日本聖公会東北教区主教 主教 フランシス 長谷川清純が、救主降生 2026 年 3 月 11 日の東日本大震災 15 周年記念の祈りでの使用を許可したものである。